

## 運用報告書 (全体版)

### 高金利通貨ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信 / 海外 / 債券	
信託期間	原則、無期限です。	
運用方針	グローバル高金利通貨マザーファンド受益証券を主要投資対象として、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド	グローバル高金利通貨マザーファンド受益証券。
	グローバル高金利通貨マザーファンド	世界各国の公社債。
組入制限	当ファンドのグローバル高金利通貨マザーファンド組入上限比率	制限なし。
	グローバル高金利通貨マザーファンドの株式組入上限比率	転換社債の転換および新株予約権の行使により取得したものに限り、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を基礎として安定した分配を行うことを目標に決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。上記にかかわらず、上記にかかる分配金額のほか、分配対象額の範囲内で基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

第125期	<決算日	2018年10月9日>
第126期	<決算日	2018年11月8日>
第127期	<決算日	2018年12月10日>
第128期	<決算日	2019年1月8日>
第129期	<決算日	2019年2月8日>
第130期	<決算日	2019年3月8日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「高金利通貨ファンド」は、2019年3月8日に第130期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			債 組 入 比	券 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 入 配 金	期 騰 落 中 率				
	円	円	%	%	%		百万円
101期 (2016年10月11日)	4,489	20	1.3	94.4	—	—	7,311
102期 (2016年11月8日)	4,510	20	0.9	95.4	—	—	7,245
103期 (2016年12月8日)	4,743	20	5.6	94.5	—	—	7,503
104期 (2017年1月10日)	4,804	20	1.7	94.1	—	—	7,397
105期 (2017年2月8日)	4,754	20	△0.6	94.7	—	—	7,238
106期 (2017年3月8日)	4,890	20	3.3	95.7	—	—	7,378
107期 (2017年4月10日)	4,786	20	△1.7	94.7	—	—	7,164
108期 (2017年5月8日)	4,883	20	2.4	95.0	—	—	7,240
109期 (2017年6月8日)	4,831	20	△0.7	94.9	—	—	7,079
110期 (2017年7月10日)	4,921	20	2.3	94.6	—	—	7,135
111期 (2017年8月8日)	4,886	20	△0.3	95.3	—	—	7,043
112期 (2017年9月8日)	4,902	20	0.7	95.6	—	—	6,983
113期 (2017年10月10日)	4,883	20	0.0	95.0	—	—	6,929
114期 (2017年11月8日)	4,825	20	△0.8	95.1	—	—	6,770
115期 (2017年12月8日)	4,838	20	0.7	95.3	—	—	6,708
116期 (2018年1月9日)	4,991	20	3.6	94.9	—	—	6,821
117期 (2018年2月8日)	4,832	20	△2.8	96.1	—	—	6,540
118期 (2018年3月8日)	4,713	20	△2.0	95.8	—	—	6,334
119期 (2018年4月9日)	4,676	20	△0.4	95.1	—	—	6,226
120期 (2018年5月8日)	4,522	20	△2.9	96.2	—	—	5,974
121期 (2018年6月8日)	4,435	20	△1.5	95.0	—	—	5,790
122期 (2018年7月9日)	4,424	20	0.2	96.0	—	—	5,718
123期 (2018年8月8日)	4,422	20	0.4	95.6	—	—	5,651
124期 (2018年9月10日)	4,066	20	△7.6	95.7	—	—	5,153
125期 (2018年10月9日)	4,202	20	3.8	95.4	—	—	5,267
126期 (2018年11月8日)	4,388	20	4.9	95.3	—	—	5,466
127期 (2018年12月10日)	4,313	20	△1.3	95.3	—	—	5,326
128期 (2019年1月8日)	4,249	20	△1.0	95.4	—	—	5,178
129期 (2019年2月8日)	4,330	20	2.4	95.7	—	—	5,253
130期 (2019年3月8日)	4,305	20	△0.1	95.2	—	—	5,192

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※△(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

※債券組入比率、債券先物比率は実質比率を記載しております。

※新興国を中心とする世界の高金利通貨建て債券に分散投資を行うという当ファンドのコンセプトに適した指標等がございません。よって、ベンチマーク等は特定しておりません。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準(目標基準)となる指標をいい、約款または投資信託説明書(目論見書)において、その旨の記載があるものを指します。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

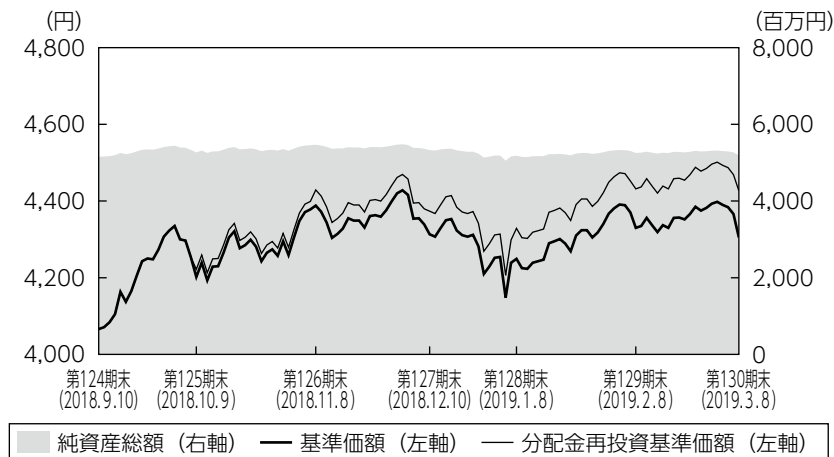
決算期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 券 先 物 率
			騰 落 率	率		
第125期	(期 首) 2018年 9月10日	円		%	%	%
		4,066		-	95.7	-
	9月末	4,307		5.9	95.0	-
第126期	(期 末) 2018年10月 9日		4,222	3.8	95.4	-
	(期 首) 2018年10月 9日		4,202	-	95.4	-
	10月末		4,295	2.2	94.9	-
第127期	(期 末) 2018年11月 8日		4,408	4.9	95.3	-
	(期 首) 2018年11月 8日		4,388	-	95.3	-
	11月末		4,420	0.7	94.9	-
第128期	(期 末) 2018年12月10日		4,333	△1.3	95.3	-
	(期 首) 2018年12月10日		4,313	-	95.3	-
	12月末		4,254	△1.4	95.1	-
第129期	(期 末) 2019年 1月 8日		4,269	△1.0	95.4	-
	(期 首) 2019年 1月 8日		4,249	-	95.4	-
	1月末		4,340	2.1	95.3	-
第130期	(期 末) 2019年 2月 8日		4,350	2.4	95.7	-
	(期 首) 2019年 2月 8日		4,330	-	95.7	-
	2月末		4,382	1.2	95.7	-
	(期 末) 2019年 3月 8日		4,325	△0.1	95.2	-

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

※債券組入比率、債券先物比率は実質比率を記載しております。

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第125期首： 4,066円  
 第130期末： 4,305円  
 (既払分配金120円)  
 騰落率： 8.9%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

当ファンドでは、グローバル高金利通貨マザーファンド（以下、マザーファンド）を通じて、新興国を中心とする高金利通貨建ての国際機関債や政府関係機関債、州政府債を中心とする信用力の高い公社債を実質的な主要投資対象としています。当作成期間前半については、前作成期間末にかけてトルコリラが大幅下落したことで、主要国の金融引き締めに伴う新興国資産への警戒感が最高潮に高まっている状態からの始まりとなったものの、通貨水準が調整されたことに伴いトルコの経常収支が改善するなど過度な警戒感が後退したことに加え、他の新興国への波及リスクに対しても懸念が和らいだことなどから、新興国資産は総じて堅調に推移しました。当作成期間後半は、世界的な景気減速懸念が浮上したことで、一時的にリスク回避的な動きとなる場面も見られたものの、米国の追加利上げ観測が大幅に後退するなど、外部環境の改善が新興国資産に追い風となったことなどから、新興国資産は一時的な調整の後で底堅く推移しました。第125期首に4,066円で始まった基準価額は、新興国資産が堅調な推移を見せる中で4,400円台まで上昇したものの、調整局面では4,200円台まで下落、その後は外部環境の改善を背景に値を戻し4,425円で当作成期間末を迎えました。（文中の基準価額は当作成期間における分配金（累計）を単純に加算しています。）

## 投資環境

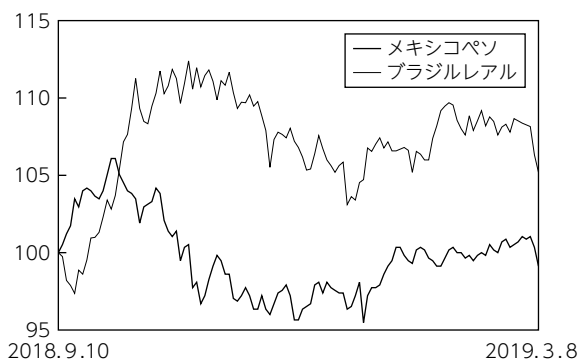
### ●債券市場

債券市場では、当作成期間前半は主要国の金融正常化などを受け世界的に債券利回りには上昇圧力がかけやすい市場環境ではあったものの、前作成期間に比べ新興国資産に対する警戒感が大幅に後退したことや、割安感も見られる水準であったことなどを要因に、投資対象国の債券利回りは概ね低下基調での推移となりました。当作成期間後半にかけては、F R B（米国連邦準備制度理事会）が追加利上げに対するスタンスを大幅に後退させるなど、外部環境が改善したことを受けて一部の新興国では利下げを模索する動きも散見されたことなどから、投資対象国の債券利回りは低下基調を維持しました。投資国の債券利回りは、資本流出圧力の減退やインフレ統計にピークアウトする動きの見られたトルコ、財政改革の進展が期待されたブラジルのほか、オーストラリア、インドネシア、インド、南アフリカ、ロシアの債券利回りが低下（価格は上昇）しました。政治的不透明感の見られる英国やメキシコのほか、ポーランドの債券利回りは横ばいとなりました。

### ●為替市場

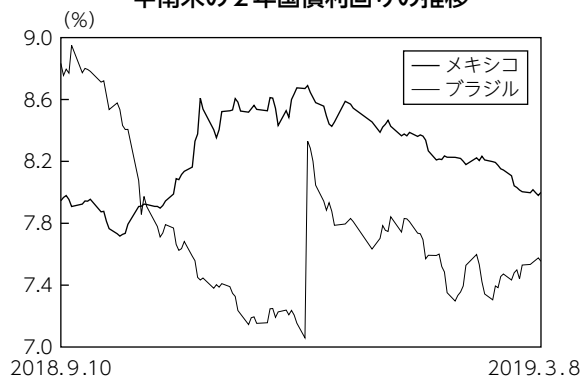
為替市場では、世界的に金融環境が引き締めのとなる中でも、新興国資産に対する過度な警戒感が後退したことから底堅い推移を見せたものの、景気鈍化懸念などを背景に世界的に株式市場が調整した場面では下落する場面も見られました。最も、当作成期間末にかけては、外部環境の改善が新興国資産への追い風となったことなどから、高金利通貨は強含む流れとなり、投資対象国の通貨は堅調に推移しました。投資国の通貨は、資本流出圧力の緩和が意識されたトルコリラの上昇幅が大きいほか、ブラジルレアル、インドネシアルピア、インドルピー、南アフリカランド、ロシアルーブル、英ポンドが上昇しました。一方で、相対的な下げ幅は大きくないもののメキシコペソ、豪ドル、ポーランドズロチは下落しました。

中南米通貨の対円レートの推移

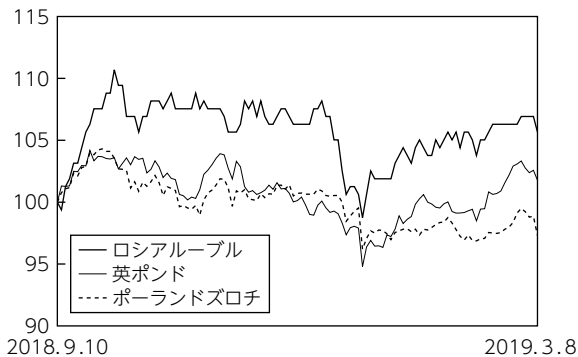


※2018.9.10を100として指数化。

中南米の2年国債利回りの推移

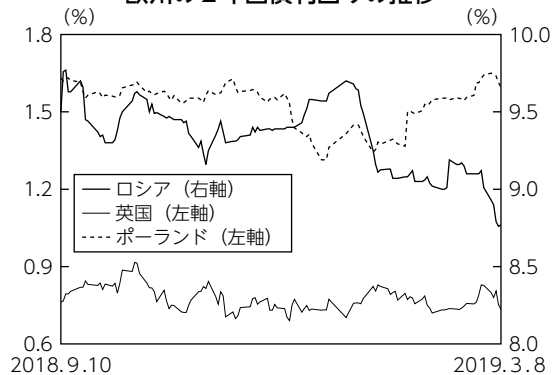


## 欧州通貨の対円レートの推移



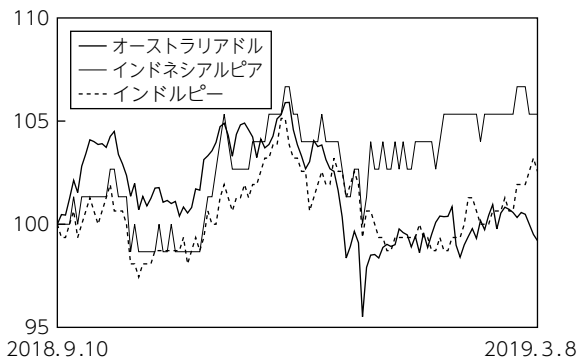
※2018.9.10を100として指数化。

## 欧州の2年国債利回りの推移



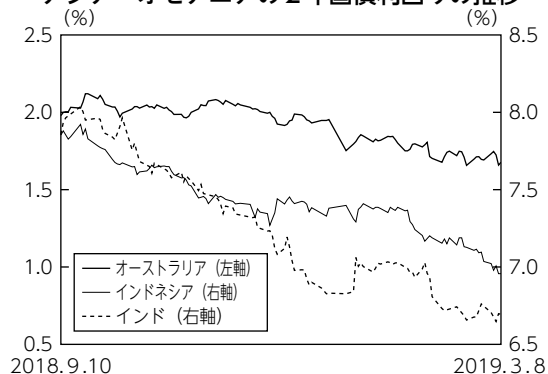
※ロシアは2年物スワップ金利を表示しています。

## アジア・オセアニア通貨の対円レートの推移

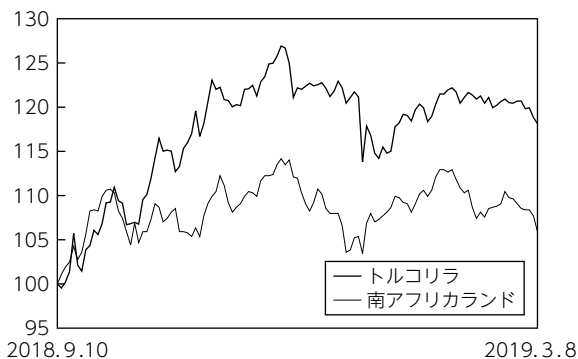


※2018.9.10を100として指数化。

## アジア・オセアニアの2年国債利回りの推移



## 中東・アフリカ通貨の対円レートの推移



※2018.9.10を100として指数化。

## 中東・アフリカの2年国債利回りの推移



※南アフリカは2年物スワップ金利を表示しています。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

マザーファンドの高位組み入れを維持しました。

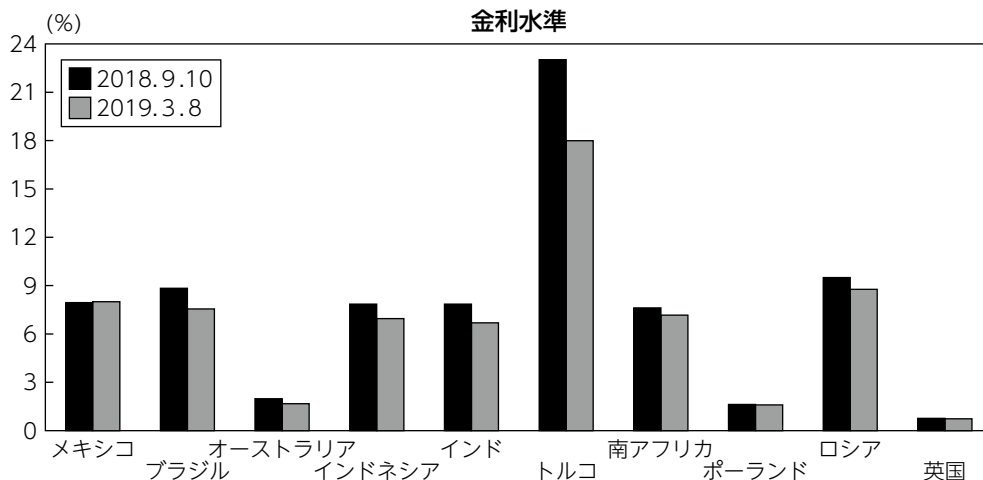
### ●グローバル高金利通貨マザーファンド

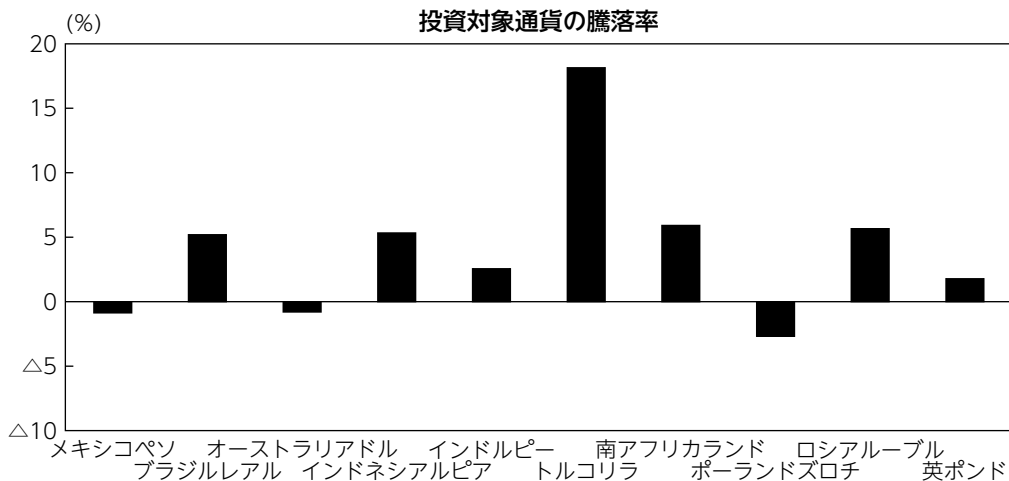
新興国を中心とする世界の高金利通貨建ての国際機関債や政府機関債等の信用力の高い公社債に投資を行い、組入債券の平均残存期間を1－3年程度とすることで金利変動リスクを低減し、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

通貨配分に関しては、北米・中南米、アジア・オセアニア、中東・アフリカ、欧州の4地域についてそれぞれ25%程度を基準とし、4地域毎に各国の金利水準や金利・為替動向、流動性等を勘案して配分を行いました。当作成期間では、市場動向等を睨みながら適宜比率の調整を実施し、特にトルコリラの組入比率を引き上げました。当作成期間末の通貨配分は、ブラジル12.8%、メキシコ12.8%（以上、北米・中南米）、オーストラリア8.1%、インド8.4%、インドネシア8.5%（以上、アジア・オセアニア）、南アフリカ12.1%、トルコ12.0%（以上、中東・アフリカ）、ロシア12.7%、英国6.3%、ポーランド6.4%（以上、欧州）としました。

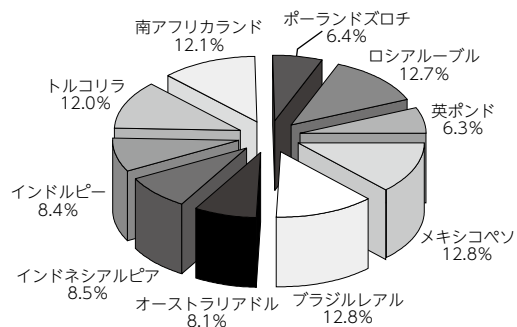
組入債券の平均残存年数、平均デュレーションは、当作成期間末時点で平均残存年数は約1.4年程度、平均デュレーションは1.2年程度としました。

また、国際機関債を中心に投資を行い、ポートフォリオの平均信用格付けはA A Aとしました。

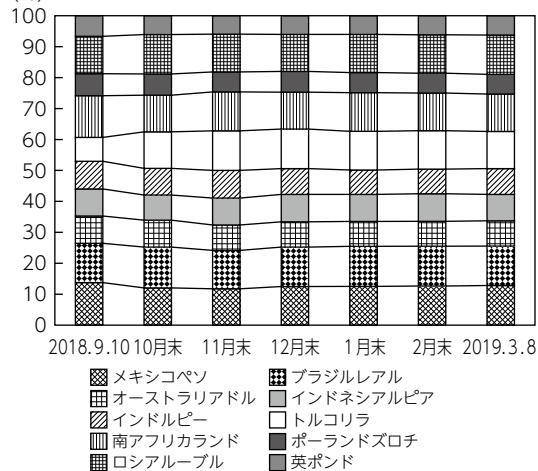




マザーファンドの債券通貨別構成比 (2019年3月8日)



マザーファンドの債券通貨別構成比の推移



※マザーファンドの債券通貨別構成比のグラフは、マザーファンドの組入債券全体に対する各通貨別の構成比を示したものです。



## ベンチマークとの差異について

新興国を中心とする世界の高金利通貨建て債券に分散投資を行うという当ファンドのコンセプトに適した指標等がございません。よって運用の目標となるベンチマークを設けていないため、グラフは掲載しておりません。

## 分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期
	2018年9月11日 ～2018年10月9日	2018年10月10日 ～2018年11月8日	2018年11月9日 ～2018年12月10日	2018年12月11日 ～2019年1月8日	2019年1月9日 ～2019年2月8日	2019年2月9日 ～2019年3月8日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.474%	0.454%	0.462%	0.468%	0.460%	0.462%
当期の収益	20円	20円	20円	20円	20円	20円
当期の収益以外	－円	－円	－円	－円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	533円	540円	545円	548円	556円	559円

- (注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
- (注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

世界経済については、主要国を中心に景気の鈍化懸念が台頭しているものの、底堅い推移を継続するものと見ています。主要国を中心とする金融政策の正常化は緩やかなものに留まると見込まれることから、外部環境は新興国への下支えとなると見ています。また、経済ファンダメンタルズ（基礎的条件）は改善していることや相対的に高い金利水準を享受する動きは継続すると見込まれることから底堅い推移を予想しています。

債券相場は、主要国の金融正常化ペースが鈍化するとの見方から世界的に金利上昇圧力は高まりにくく、新興国の相対的な金利水準の高さが投資家の需要を集めると見ています。

為替相場では、主要国では成長格差などから米ドルが選好されやすい一方で、世界経済の先行き不透明感が強まる局面では円が選好されやすいと考えています。高金利通貨は、中国景気などを睨みながら金融市場のボラティリティが上昇する場面では、値動きの荒い展開も想定されます。しかしながら、外部環境の改善を通じて、相対的な金利水準の高さが評価される場面では高金利通貨は強含むものと考えています。

### ●当ファンド

引き続きマザーファンドの高位組み入れを維持する方針です。

### ●グローバル高金利通貨マザーファンド

上記の想定の下、通貨配分については、金利水準等に大きな変化がなければ現状のポートフォリオを維持する方針ですが、市場動向などを勘案して機動的に対応します。デュレーションについては、世界経済の動向を巡り値動きの荒い展開が予想されることから、各国のインフレ動向や各通貨のイールドカーブの形状に留意しながら、ポートフォリオ全体で中立水準を維持する方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

項目	第125期～第130期		項目の概要
	(2018年9月11日 ～2019年3月8日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	23円	0.530%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4,333円です。
(投信会社)	(10)	(0.238)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(11)	(0.265)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.026)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.009	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 0)	(0.007)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	23	0.539	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年9月11日～2019年3月8日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第 125 期 ～ 第 130 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
グローバル高金利通貨マザーファンド	千□ -	千円 -	千□ 381,763	千円 417,000

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年9月11日～2019年3月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年3月8日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	第124期末			第 130 期 末		
	□ 数	金 額	評 価 額	□ 数	金 額	評 価 額
グローバル高金利通貨マザーファンド	千□ 5,035,767	千円 4,654,004	千円 5,147,328	千□ 4,654,004	千円 5,147,328	千円 5,147,328

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2019年3月8日現在)

項 目	第 130 期 末	
	評 価 額	比 率
グローバル高金利通貨マザーファンド	千円 5,147,328	% 98.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	79,357	1.5
投 資 信 託 財 産 総 額	5,226,685	100.0

※外貨建資産は、第130期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年3月8日における邦貨換算レートは、1メキシコペソ=5.70円、1ブラジルレアル=28.77円、1英ポンド=146.02円、1トルコリラ=20.45円、1ポーランドズロチ=28.93円、1ロシアルーブル=1.68円、1オーストラリアドル=78.26円、1インドネシアルピア=0.0079円、1インドルピー=1.60円、1南アフリカランド=7.70円です。

※グローバル高金利通貨マザーファンドの外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、99.9% (5,151,397千円) です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第125期末	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末	第130期末
	2018年10月9日現在	2018年11月8日現在	2018年12月10日現在	2019年1月8日現在	2019年2月8日現在	2019年3月8日現在
(A) 資 産	5,304,011,255円	5,499,161,048円	5,364,290,310円	5,209,583,373円	5,285,077,409円	5,226,685,741円
コール・ローン等	94,580,031	83,516,265	61,687,160	46,137,426	54,509,588	79,357,172
グローバル高金利通貨 マザーファンド(評価額)	5,209,431,224	5,415,644,783	5,302,603,150	5,163,445,947	5,230,567,821	5,147,328,569
(B) 負 債	36,322,875	32,783,834	37,661,227	30,949,508	31,131,475	33,985,169
未払収益分配金	25,070,062	24,916,202	24,700,134	24,375,035	24,269,220	24,125,092
未払解約金	6,677,183	3,108,118	7,817,770	2,070,226	2,045,843	5,474,231
未払信託報酬	4,558,907	4,742,600	5,125,154	4,488,345	4,799,419	4,370,370
未払利息	178	230	141	111	109	101
その他未払費用	16,545	16,684	18,028	15,791	16,884	15,375
(C) 純資産総額(A-B)	5,267,688,380	5,466,377,214	5,326,629,083	5,178,633,865	5,253,945,934	5,192,700,572
元 本	12,535,031,028	12,458,101,360	12,350,067,112	12,187,517,748	12,134,610,400	12,062,546,217
次期繰越損益金	△ 7,267,342,648	△ 6,991,724,146	△ 7,023,438,029	△ 7,008,883,883	△ 6,880,664,466	△ 6,869,845,645
(D) 受益権総口数	12,535,031,028口	12,458,101,360口	12,350,067,112口	12,187,517,748口	12,134,610,400口	12,062,546,217口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,202円	4,388円	4,313円	4,249円	4,330円	4,305円

## ○損益の状況

項 目	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期
	2018年9月11日～ 2018年10月9日	2018年10月10日～ 2018年11月8日	2018年11月9日～ 2018年12月10日	2018年12月11日～ 2019年1月8日	2019年1月9日～ 2019年2月8日	2019年2月9日～ 2019年3月8日
(A) 配 当 等 収 益	△ 3,688円	△ 5,255円	△ 4,162円	△ 3,973円	△ 2,416円	△ 2,067円
支 払 利 息	△ 3,688	△ 5,255	△ 4,162	△ 3,973	△ 2,416	△ 2,067
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	200,761,436	260,665,219	△ 62,566,412	△ 49,086,710	126,857,336	△ 1,563,288
売 買 益	202,294,928	261,216,508	505,540	278,750	127,136,708	1,088,503
売 買 損	△ 1,533,492	△ 551,289	△ 63,071,952	△ 49,365,460	△ 279,372	△ 2,651,791
(C) 信 託 報 酬 等	△ 4,575,452	△ 4,759,284	△ 5,143,182	△ 4,504,136	△ 4,816,303	△ 4,385,745
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	196,182,296	255,900,680	△ 67,713,756	△ 53,594,819	122,038,617	△ 5,951,100
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 3,102,752,197	△ 2,912,790,155	△ 2,656,408,539	△ 2,710,985,336	△ 2,775,449,271	△ 2,660,968,756
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 4,335,702,685	△ 4,309,918,469	△ 4,274,615,600	△ 4,219,928,693	△ 4,202,984,592	△ 4,178,800,697
(配当等相当額)	( 23,319,978)	( 23,367,769)	( 23,678,823)	( 23,756,023)	( 23,976,170)	( 24,036,698)
(売買損益相当額)	(△ 4,359,022,663)	(△ 4,333,286,238)	(△ 4,298,294,423)	(△ 4,243,684,716)	(△ 4,226,960,762)	(△ 4,202,837,395)
(G) 計 (D+E+F)	△ 7,242,272,586	△ 6,966,807,944	△ 6,998,737,895	△ 6,984,508,848	△ 6,856,395,246	△ 6,845,720,553
(H) 収 益 分 配 金	△ 25,070,062	△ 24,916,202	△ 24,700,134	△ 24,375,035	△ 24,269,220	△ 24,125,092
次期繰越損益金(G+H)	△ 7,267,342,648	△ 6,991,724,146	△ 7,023,438,029	△ 7,008,883,883	△ 6,880,664,466	△ 6,869,845,645
追加信託差損益金	△ 4,335,702,685	△ 4,309,918,469	△ 4,274,615,600	△ 4,219,928,693	△ 4,202,984,592	△ 4,178,800,697
(配当等相当額)	( 23,328,360)	( 23,374,616)	( 23,691,278)	( 23,760,817)	( 23,989,002)	( 24,042,909)
(売買損益相当額)	(△ 4,359,031,045)	(△ 4,333,293,085)	(△ 4,298,306,878)	(△ 4,243,689,510)	(△ 4,226,973,594)	(△ 4,202,843,606)
分配準備積立金	645,678,135	649,400,136	650,572,806	645,188,850	651,359,413	650,629,673
繰越損益金	△ 3,577,318,098	△ 3,331,205,813	△ 3,399,395,235	△ 3,434,144,040	△ 3,329,039,287	△ 3,341,674,621

・信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

・追加信託差損益金とは、追加設定をした金額のうち元本を上回る額を処理する項目で配当等相当額と売買損益相当額にわかれます。

注記事項 (運用報告書作成時点では監査未了です。)

・信託財産に係る作成期首元本額、作成期中追加設定元本額及び作成期中一部解約元本額

  作成期首元本額 12,676,215,037円

  作成期中追加設定元本額 36,299,396円

  作成期中一部解約元本額 649,968,216円

## ・分配金の計算過程

## 第125期

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (28,248,506円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に定める収益調整金 (23,328,360円) 及び分配準備積立金 (642,499,691円) より分配対象収益は694,076,557円 (1万口当たり553.69円) であり、うち25,070,062円 (1万口当たり20円) を分配しております。

## 第126期

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (32,755,162円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に定める収益調整金 (23,374,616円) 及び分配準備積立金 (641,561,176円) より分配対象収益は697,690,954円 (1万口当たり560.01円) であり、うち24,916,202円 (1万口当たり20円) を分配しております。

## 第127期

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (31,964,877円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に定める収益調整金 (23,691,278円) 及び分配準備積立金 (643,308,063円) より分配対象収益は698,964,218円 (1万口当たり565.94円) であり、うち24,700,134円 (1万口当たり20円) を分配しております。

## 第128期

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (27,863,649円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に定める収益調整金 (23,760,817円) 及び分配準備積立金 (641,700,236円) より分配対象収益は693,324,702円 (1万口当たり568.86円) であり、うち24,375,035円 (1万口当たり20円) を分配しております。

## 第129期

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (33,537,521円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に定める収益調整金 (23,989,002円) 及び分配準備積立金 (642,091,112円) より分配対象収益は699,617,635円 (1万口当たり576.52円) であり、うち24,269,220円 (1万口当たり20円) を分配しております。

## 第130期

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (27,425,822円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に定める収益調整金 (24,042,909円) 及び分配準備積立金 (647,328,943円) より分配対象収益は698,797,674円 (1万口当たり579.30円) であり、うち24,125,092円 (1万口当たり20円) を分配しております。

## ○分配金のお知らせ

	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期
1万口当たり分配金 (税込み)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

1. 分配金のお支払いは、決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
2. 自動継続投資契約を結んだ方のお手取り分配金は、決算日の基準価額 (分配落ち) にもとづき、それぞれの口座に再投資いたしました。
3. 分配金は普通分配金に課税されます。
4. 元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

※分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金 (特別分配金) にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの部分が普通分配金となります。

---

---

# グローバル高金利通貨マザーファンド

---

---

## 第11期 運用報告書

(決算日 2019年3月8日)

『グローバル高金利通貨マザーファンド』は、去る2019年3月8日に第11期の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をお知らせいたします。

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形態	親投資信託
信託期間	原則、無期限です。
運用方針	この投資信託は、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	世界各国の公社債。
組入制限	株式への投資割合は、転換社債の転換および新株予約権の行使により取得したものに限り、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	運用による収益は、信託終了時まで投資信託財産中に留保し、期中には分配を行いません。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物率	純資産額
		期騰	落中率			
7期 (2015年3月9日)	円		%	%	%	百万円
8期 (2016年3月8日)	11,380		4.4	95.6	-	11,196
9期 (2017年3月8日)	10,043		△11.7	94.8	-	7,889
10期 (2018年3月8日)	11,091		10.4	96.4	-	7,346
11期 (2019年3月8日)	11,354		2.4	96.4	-	6,304
	11,060		△ 2.6	96.0	-	5,157

※△(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

※新興国を中心とする世界の高金利通貨建て債券に分散投資を行うという当ファンドのコンセプトに適した指標等がございません。よって、ベンチマーク等は特定しておりません。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準(目標基準)となる指標をいい、約款または投資信託説明書(目論見書)において、その旨の記載があるものを指します。

○当期中の基準価額と市況等の推移

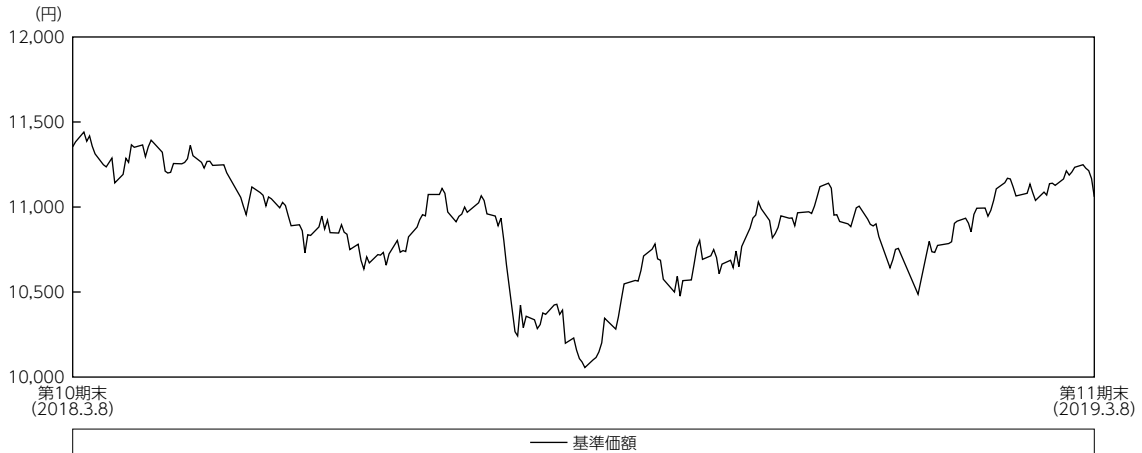
年月日	基準	価額		債組入比率	債券先物率
		騰落	率		
(期首) 2018年3月8日	円		%	%	%
	11,354		-	96.4	-
3月末	11,351		△ 0.0	96.4	-
4月末	11,245		△ 1.0	96.7	-
5月末	10,837		△ 4.6	95.4	-
6月末	10,724		△ 5.5	96.7	-
7月末	11,025		△ 2.9	96.5	-
8月末	10,199		△10.2	97.1	-
9月末	10,712		△ 5.7	95.3	-
10月末	10,741		△ 5.4	96.3	-
11月末	11,120		△ 2.1	96.0	-
12月末	10,757		△ 5.3	95.9	-
2019年1月末	11,038		△ 2.8	96.3	-
2月末	11,206		△ 1.3	96.1	-
(期末) 2019年3月8日	11,060		△ 2.6	96.0	-

※騰落率は期首比。



## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



### 基準価額の主な変動要因

新興国を中心とする高金利通貨建ての国際機関債や政府関係機関債、州政府債を中心とする信用力の高い公社債を主要投資対象としています。

基準価額は期首の11,354円から期末には11,060円と、294円値下がりし、期間騰落率は△2.59%の下落となりました。

#### ①主たるプラス要因

保有債券からの利息収入

#### ②主たるマイナス要因

トルコなどの債券価格の下落

トルコリラなどの新興国通貨の弱含み

### 投資環境

#### ●債券市場

先進国においては、米国を中心として金融政策の正常化が進んだことなどから債券市場の利回りは上昇（価格は下落）傾向で推移したものの、期の後半は世界的な景気鈍化懸念が浮上したことなどを受けて米国の追加利上げに対する思惑が大幅に後退したことなどから、債券利回りは上げ幅を縮小しました。高金利国においては、米国での段階的な利上げや、F R B（米国連邦準備制度理事会）のバランスシート縮小などを受けて、米国への資金還流が強まったことなどから多くの国で政策金利が引き上げられ、債券利回りも上昇しました。最も、期末にかけては主要国の金融正常化観測が大幅に後退したことなどから、先進国同様に債券市場の利回りは上げ幅を縮小しました。投資国の国債利回りは、物価上昇圧力

が高いトルコや経済制裁が懸念されたロシアのほか、メキシコ、ブラジル、インドネシア、南アフリカ、の国債利回りが上昇（価格は下落）しました。一方で、足元で利下げ観測が浮上しているオーストラリアのほか、インドは低下（価格は上昇）、英国やポーランドの国債利回りは横ばいとなりました。

### ● 為替市場

為替市場では、米国を中心に金融政策の正常化が進むなど米ドルへの資金還流が起きやすい市場環境となる中、相対的に金利水準の高い新興国通貨は金融緩和マネーの巻き戻しが意識されたことなどから下落となりました。最も期末にかけては、米国の追加利上げ観測の後退など、外部環境の改善が新興国通貨への追い風となったことなどから下げ幅を縮小しました。投資国の通貨では、海外からの借入金焦げ付きが懸念されたトルコ、国営電力会社エスコムの資金繰りが懸念される南アフリカランドの下落幅が大きく、ブラジルレアル、豪ドル、インドルピー、ポーランドズロチ、ロシアルーブルが下落となりました。一方で、中央銀行が通貨防衛の姿勢を明確にしているインドネシアルピアのほか、メキシコペソ、英ポンドは横ばいとなりました。

### ■ ポートフォリオについて

ポートフォリオについては、新興国を中心とする高金利通貨建ての国際機関債を中心に信用力の高い公社債の高位組み入れを維持しました。

通貨配分に関しては、北米・中南米、アジア・オセアニア、中東・アフリカ、欧州の4地域についてそれぞれ25%程度とし、4地域毎に各国の金利水準や金利・為替動向、流動性等を勘案して、期首の通貨配分をブラジル13.2%、メキシコ12.0%（以上、北米・中南米）、オーストラリア9.0%、インド9.1%、インドネシア6.6%（以上、アジア・オセアニア）、南アフリカ12.6%、トルコ12.4%（以上、中東・アフリカ）、ロシア13.0%、英国5.6%、ポーランド6.4%（以上、欧州）としました。期中においては、市場動向等を睨みながら適宜比率の調整を行い、特にインドネシアの組入比率を引き上げました。当期末の通貨配分は、ブラジル12.8%、メキシコ12.8%（以上、北米・中南米）、オーストラリア8.1%、インド8.4%、インドネシア8.5%（以上、アジア・オセアニア）、南アフリカ12.1%、トルコ12.0%（以上、中東・アフリカ）、ロシア12.7%、英国6.3%、ポーランド6.4%（以上、欧州）としました。

期末時点におけるポートフォリオの属性は、債券組入比率96%程度、平均クーポン8.3%程度、平均最終利回り7.6%程度、平均直接利回り8.2%程度、平均残存年数1.4年程度、平均デュレーション1.2年程度としております。（平均最終利回りは、キャッシュを含めたものです。）

## ベンチマークとの差異について

新興国を中心とする世界の高金利通貨建て債券に分散投資を行うという当ファンドのコンセプトに適した指標等がございません。よって運用の目標となるベンチマークを設けていないため、グラフは掲載しておりません。

## 今後の運用方針

世界経済については、主要国を中心に景気の鈍化懸念が台頭しているものの、底堅い推移を継続するものと見ています。主要国を中心とする金融政策の正常化は緩やかなものに留まると見込まれることから、外部環境は新興国への下支えとなると見ています。また、経済ファンダメンタルズ（基礎的条件）は改善していることや相対的に高い金利水準を享受する動きは継続すると見込まれることから底堅い推移を予想しています。

債券相場は、主要国の金融正常化ペースが鈍化するとの見方から世界的に金利上昇圧力は高まりにくく、新興国の相対的な金利水準の高さが投資家の需要を集めると見ています。

為替相場では、主要国では成長格差などから米ドルが選好されやすい一方で、世界経済の先行き不透明感が強まる局面では円が選好されやすいと考えています。高金利通貨は、中国景気などを睨みながら金融市場のボラティリティが上昇する場面では、値動きの荒い展開も想定されます。しかしながら、外部環境の改善を通じて、相対的な金利水準の高さが評価される場面では高金利通貨は強含むものと考えています。

上記の想定の下、通貨配分については、金利水準等に大きな変化がなければ現状のポートフォリオを維持する方針ですが、市場動向などを勘案して機動的に対応します。デュレーションについては、世界経済の動向を巡り値動きの荒い展開が予想されることから、各国のインフレ動向や各通貨のイールドカーブの形状に留意しながら、ポートフォリオ全体で中立水準を維持する方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2018年3月9日 ～2019年3月8日)		
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 2	% 0.014	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	
合 計	2	0.014	
期中の平均基準価額は、10,912円です。			

※期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
 ※金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 ※比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2018年3月9日～2019年3月8日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	メ キ シ コ	特 殊 債 券	千メキシコペソ 72,940	千メキシコペソ 62,157 ( 31,000)
	ブ ラ ジ ル	特 殊 債 券	千ブラジルリアル -	千ブラジルリアル 2,242
	イ ギ リ ス	特 殊 債 券	千英ポンド -	千英ポンド 132
	ト ル コ	特 殊 債 券	千トルコリラ 29,069	千トルコリラ 28,460
	ポ ー ラ ン ド	特 殊 債 券	千ポーランドズロチ -	千ポーランドズロチ 1,689
	ロ シ ア	特 殊 債 券	千ロシアルーブル 10,552	千ロシアルーブル 39,669
	オ ー ス ト ラ リ ア	特 殊 債 券	千オーストラリアドル -	千オーストラリアドル 1,317
	イ ン ド ネ シ ア	特 殊 債 券	千インドネシアルピア 26,375,025	千インドネシアルピア 6,295,840 (17,300,000)
	イ ン ド	特 殊 債 券	千インドルピー 217,208	千インドルピー 280,259 ( 14,400)
	南 ア フ リ カ	特 殊 債 券	千南アフリカランド 55,900	千南アフリカランド 64,721

※金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

※（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年3月9日～2019年3月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年3月8日現在)

## 外国公社債

(A) 外国（外貨建）公社債 種類別開示

区 分	当		期		末			
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メ キ シ コ	千メキシコペソ 116,980	千メキシコペソ 111,305	千円 634,441	% 12.3	% -	% -	% -	% 12.3
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 21,600	千ブラジルレアル 21,945	631,380	12.2	-	-	3.9	8.3
イ ギ リ ス	千英ポンド 1,950	千英ポンド 2,119	309,490	6.0	-	-	5.4	0.6
ト ル コ	千トルコリラ 28,430	千トルコリラ 29,092	594,933	11.5	-	-	-	11.5
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 10,912	千ポーランドズロチ 10,898	315,280	6.1	-	-	-	6.1
ロ シ ア	千ロシアルーブル 372,600	千ロシアルーブル 374,345	628,900	12.2	-	-	5.6	6.6
オーストラリア	千オーストラリアドル 5,000	千オーストラリアドル 5,150	403,061	7.8	-	-	-	7.8
インドネシア	千インドネシアルピア 54,050,000	千インドネシアルピア 53,533,190	422,912	8.2	-	-	0.4	7.8
イ ン ド	千インドルピー 261,700	千インドルピー 258,542	413,668	8.0	-	-	-	8.0
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 76,280	千南アフリカランド 77,586	597,417	11.6	-	-	7.7	3.9
合 計	-	-	4,951,487	96.0	-	-	23.0	73.0

※邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

※組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の割合。

※信用格付けは、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク、S &amp; Pグローバル・レーティングを参考に記載しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	当期末				償還年月日	
		利率	額面金額	評価額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
	特殊債券 (除く金融債)	AFRICAN DEVELOPMENT BANK(アフリカ開発銀行)	3.65	2,900	2,726	15,541	2020/5/21
		EUROPEAN INVESTMENT BANK(欧州投資銀行)	4.0	20,500	19,673	112,140	2020/2/25
		EUROPEAN INVESTMENT BANK(欧州投資銀行)	4.75	76,000	71,493	407,511	2021/1/19
		INTL BK RECON & DEVELOP(国際復興開発銀行)	7.5	17,580	17,411	99,248	2020/3/5
小	計					634,441	
ブラジル			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル			
	特殊債券 (除く金融債)	EUROPEAN INVESTMENT BANK(欧州投資銀行)	7.5	1,500	1,540	44,325	2022/4/13
		INTL BK RECON & DEVELOP(国際復興開発銀行)	8.0	5,300	5,460	157,085	2022/1/31
		INTL FINANCE CORP(国際金融公社)	10.0	14,800	14,945	429,968	2019/6/14
小	計					631,380	
イギリス			千英ポンド	千英ポンド			
	特殊債券 (除く金融債)	EUROPEAN INVESTMENT BANK(欧州投資銀行)	2.25	220	223	32,574	2020/3/7
		EUROPEAN INVESTMENT BANK(欧州投資銀行)	5.375	1,730	1,896	276,916	2021/6/7
小	計					309,490	
トルコ			千トルコリラ	千トルコリラ			
	特殊債券 (除く金融債)	EUROPEAN BK RECON & DEV(欧州復興開発銀行)	20.0	6,000	5,837	119,374	2019/10/16
		EUROPEAN BK RECON & DEV(欧州復興開発銀行)	30.0	5,500	5,786	118,334	2020/1/15
		EUROPEAN BK RECON & DEV(欧州復興開発銀行)	27.5	10,500	11,307	231,237	2020/9/18
		INTL FINANCE CORP(国際金融公社)	10.25	6,430	6,160	125,986	2019/7/11
小	計					594,933	
ポーランド			千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ			
	特殊債券 (除く金融債)	INTL BK RECON & DEVELOP(国際復興開発銀行)	1.5	10,912	10,898	315,280	2020/7/31
ロシア			千ロシアルーブル	千ロシアルーブル			
	特殊債券 (除く金融債)	INTL BK RECON & DEVELOP(国際復興開発銀行)	10.0	10,100	10,207	17,147	2019/9/16
		INTL FINANCE CORP(国際金融公社)	11.0	186,500	191,535	321,779	2020/1/21
		INTL FINANCE CORP(国際金融公社)	6.375	176,000	172,603	289,973	2022/4/11
小	計					628,900	
オーストラリア			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル			
	特殊債券 (除く金融債)	EUROPEAN INVESTMENT BANK(欧州投資銀行)	2.8	2,850	2,890	226,221	2021/1/15
		INTL FINANCE CORP(国際金融公社)	5.75	2,150	2,259	176,840	2020/7/28
小	計					403,061	
インドネシア			千インドネシアルピア	千インドネシアルピア			
	特殊債券 (除く金融債)	EUROPEAN BK RECON & DEV(欧州復興開発銀行)	8.3	18,000,000	18,070,200	142,754	2020/10/2
		EUROPEAN BK RECON & DEV(欧州復興開発銀行)	6.45	3,000,000	2,868,300	22,659	2022/12/13
		EUROPEAN INVESTMENT BANK(欧州投資銀行)	7.2	22,500,000	22,405,500	177,003	2019/7/9
		INTER-AMERICAN DEVEL BK(米州開発銀行)	5.8	10,550,000	10,189,190	80,494	2020/9/28
小	計					422,912	
インド			千インドルピー	千インドルピー			
	特殊債券 (除く金融債)	EUROPEAN BK RECON & DEV(欧州復興開発銀行)	5.15	21,800	21,333	34,133	2020/1/20
		INTL BK RECON & DEVELOP(国際復興開発銀行)	5.75	150,000	147,945	236,712	2019/10/28
		INTL FINANCE CORP(国際金融公社)	7.8	55,000	54,950	87,920	2019/6/3
		INTL FINANCE CORP(国際金融公社)	6.45	34,900	34,313	54,901	2020/8/10
小	計					413,668	
南アフリカ			千南アフリカランド	千南アフリカランド			
	特殊債券 (除く金融債)	EUROPEAN INVESTMENT BANK(欧州投資銀行)	6.0	6,400	6,350	48,895	2019/10/21
		EUROPEAN INVESTMENT BANK(欧州投資銀行)	9.0	37,380	38,501	296,460	2021/3/31
		EUROPEAN INVESTMENT BANK(欧州投資銀行)	8.375	12,500	12,801	98,569	2022/7/29
		INTL BK RECON & DEVELOP(国際復興開発銀行)	0.5	20,000	19,934	153,491	2019/3/28
小	計					597,417	
合	計					4,951,487	

## ○投資信託財産の構成

(2019年3月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 4,951,487	% 96.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	206,265	4.0
投 資 信 託 財 産 総 額	5,157,752	100.0

※外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年3月8日における邦貨換算レートは1メキシコペソ=5.70円、1ブラジルレアル=28.77円、1英ポンド=146.02円、1トルコリラ=20.45円、1ポーランドズロチ=28.93円、1ロシアルーブル=1.68円、1オーストラリアドル=78.26円、1インドネシアルピア=0.0079円、1インドルピー=1.60円、1南アフリカランド=7.70円です。

※外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、99.9% (5,151,397千円) です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年3月8日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	5,157,752,378円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	19,267,181
公 社 債(評価額)	4,951,487,202
未 収 利 息	161,500,412
前 払 費 用	25,497,583
(B) 負 債	8
未 払 利 息	8
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	5,157,752,370
元 本	4,663,498,018
次 期 繰 越 損 益 金	494,254,352
(D) 受 益 権 総 口 数	4,663,498,018口
1 万口当たり基準価額(C/D)	11,060円

## ○損益の状況 (2018年3月9日～2019年3月8日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	378,367,276円
受 取 利 息	378,381,270
支 払 利 息	△ 13,994
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△550,435,681
売 買 益	91,724,642
売 買 損	△642,160,323
(C) 保 管 費 用 等	△ 792,412
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△172,860,817
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	751,709,552
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	100,231
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 84,694,614
(H) 計 (D+E+F+G)	494,254,352
次 期 繰 越 損 益 金(H)	494,254,352

・追加信託差損益金とは、追加設定をした金額のうち元本を上下する額を処理する項目です。

・解約差損益金とは、解約元本額と解約代金との差額で解約元本額を上(下)回って支払うため損(益)金として処理することになっております。

## 注記事項

・投資信託の期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額	
期首元本額	5,552,323,635円
期中追加設定元本額	1,359,769円
期中一部解約元本額	890,185,386円
期末元本の内訳	
高金利通貨ファンド	4,654,004,132円
グローバル・ナビ	9,493,886円
合 計	4,663,498,018円